

JACET-Kansai Newsletter

No. 41 January 25, 2008

支部長: 木村 博是 (近畿大学) (Chapter President: Hiroshi Kimura, Kinki University)

支部事務局: 〒522-8533 彦根市八坂町 2500 滋賀県立大学 小栗裕子研究室内

(Chapter Office: Yuko Oguri, The University of Shiga Prefecture, 2500 Hassaka-cho, Hikone-shi 522-8533)

Tel: 0749-28-8252 Fax: 0749-28-8619 E-mail: yoguri@ice.usp.ac.jp URL: <http://www.jacet-kansai.org/>

郵便振替口座番号(Postal Account): 00940-4-187715 大学英語教育学会関西支部

ワールド・イングリッシーズの視点から

支部長 木村博是

新しい年が始まりました。今年の干支の子(ね)は「草木の種子が成長して芽生える状態」のことです。JACET 関西支部会員の方々にとりましても、2008 年に豊かな実り多いすばらしい年でありますように、心から祈ります。

年頭に際し、関西支部の向かっていく 3 つの方向性を示唆させていただきます。第 1 は JACET 関西紀要に多くの投稿、第 2 は支部大会と講演会に多くの参加者、第 3 は各研究会の活発な活動です。この 3 つを有機的に機能させ、関西支部から大学英語教育のあり方を発信することが、私のコミットメントです。そして、その実現に向けて最大限の努力をしますので、会員の皆様のさらなる積極的な関与をお願い致します。

さて、ノンネイティブとして私たちは、これからどのような英語を学び、教えればよいのでしょうか。「外国語を習得するための最も良い方法は、その言葉を使っている国で生活することだ」と古くから言われるように、言葉は文化や生活を反映するものである以上、英語圏の人々の文化や生活に直接触れながら学ぶことは、英語習得の最善の方法であることは言うまでもありません。

しかし、英語圏の国には、移民が多い地域がたくさんあります。カナダのバンクーバーも例外ではありません。カナダ人に聞けば「バンクーバー市民のうち、そこで生まれ育った人は 10 パーセントぐらい」と言うほどです。そのせいか、バンクーバー市内の語学学校では、必ずしもカナダ育ちの教員が教えているわけではありません。イギリスやアメリカから来た教員もたくさんいます。

したがって、基本的には Longman や Cambridge UP などのイギリスのテキストを使用していますが、アメリカ人の教員もいるため、授業では異文化間コミュニケーションに直面することもあります。テキストにイギリス特有の表現が出てくると、“That’s British. We don’t use it.” と言って、隣の教室のイギリス人に “Do you use ...?” などと質問をしたりします。このように母語として英語を使う人たちの英語にもバリエーションがあり、話し方も語彙も微妙に違います。

また、英語を母語としないホストファミリーの評判は良いようです。「(移民の)ホストファミリーの英語はよくわかる」という学生の声をよく聞きます。この点に関し、あるドイツ人のホストファミリーが「私たちの英語はワールド・イングリッシーズ (World Englishes) なので、わかりやすいのかもしれませんが」と言っていたのが印象的でした。英語を母語としない人の英語、いわゆる「ワールド・イングリッシーズ」は特殊な表現を用いず、正確な文法をもとに基本的な語彙を用いているため、理解しやすいと言えます。一方、ネイティブの英語はナチュラルな反面、その地域特有の表現を使うことがあって、スムーズに理解できないこともあります。

現在、世界の英語人口はノンネイティブの方が圧倒的に多く、今後ますます異なる文化的な背景を持った人とのコミュニケーションの機会が増えるでしょう。そのため母語を共有しない多国間そして異文化間コミュニケーション・ツールとして、正確な文法力と基本的な表現に基づく英語を身に付けることが必要になります。ネイティブの発想に基づく英語だけでなく、ノンネイティブとして、「ワールド・イングリッシーズ」の視点から英語教育を見直すことも視野に入れてはどうでしょうか。

2007年度JACET関西支部第3回講演会開催のお知らせ

今年度の第3回講演会を以下の要領で開催します。奮ってご参加いただきますようご案内いたします。

日時: 2008年3月2日(日) 15時45分受付開始

場所: 関西学院大学大阪梅田キャンパス1408教室

講師: 井狩幸男氏(大阪市立大学)

演題: 「脳科学からみた言語習得」

詳細については、同封の案内をご覧ください。

2008年度JACET関西支部春季大会

ワークショップ・研究発表・実践報告応募要領

上記の大会が6月7日(土)に摂南大学にて開催されます。以下の要領で発表を募集いたします。発表をご希望の会員の方は関西支部事務局までご応募下さい。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしています。

1. 発表内容: 発表は英語教育及び関連分野に関する未発表のものに限る。
2. 発表時間: 研究発表・実践報告は発表が20分、質疑応答が10分の計30分。

3. 応募書類：応募者は、応募書類（A、Bの2種）を、Eメール添付にて事務局まで送付すること。応募書類は本支部HPからダウンロード可。

A) 応募情報：

- a) 発表形式：ワークショップ、研究発表、実践報告の別を記入。
- b) 発表題目（日本語と英語）
- c) 発表者情報（共同発表の場合は全員）：氏名（漢字とローマ字）、所属（日本語と英語）、連絡先住所、TEL、FAX、Eメール
- d) 発表に使用する言語
- e) 使用希望機器（不要なら「なし」と明記）

- B) 発表要旨（目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献等）：日本語の場合は800字（A4用紙ワープロ打ち）程度、英語の場合は400words（A4用紙ワープロ打ち）程度。無記名。字数厳守。

4. 締め切り：2008年2月17日（日）必着。
5. 選考：選考は選考委員会にて行う。
6. 結果通知：選考結果は、締め切り後一ヶ月程度でEメールにて通知する。
7. 送付先：yoguri[at]ice.usp.ac.jp
*一両日中に受け取り確認をEメールにてお送りします。万一、連絡がない場合はご一報下さい。
8. その他：ワークショップの詳細については事務局までお問い合わせ下さい。

Call for Papers

The 2008 Spring Conference of the JACET Kansai Chapter will be held at Setsunan University on Saturday, June 7. Please send proposals for research papers, reports on classroom activities and workshops.

- 1) Proposed topics should be relevant to English education and related fields. The proposed material should not have been presented elsewhere.
- 2) A research paper or a report on classroom activities should consist of a 20-minute presentation and a 10-minute Q & A period. With regard to workshops, contact the JACET Kansai Chapter office for details.
- 3) The following forms A and B should be prepared on separate sheets and submitted to the Chapter office by E-mail attached documents. The forms are available from the Website.

A) Application form:

- a) Type of proposal (research paper, report on classroom activities or workshop); b) Title of proposal; c) Information on an applicant: name, affiliation, postal address, phone & fax numbers, E-mail address; d) Language of presentation; e) Equipment needed.

- B) Abstract: anonymous; write about 400 words including purpose of research, background, hypothesis, method, conclusion, references.

- 4) Proposals must arrive at the Kansai Chapter office

(yoguri[at]ice.usp.ac.jp) by no later than February 17.

- 5) The proposals will be screened by the Reviewing Committee.
- 6) Notification of acceptance will be sent within a month after the application deadline.
- 7) Acknowledgement of the receipt of the proposal will be sent by E-mail within two days after its receipt. Inform the office if you receive no notification.

同大会シンポジウムへの質問募集

CALL for the questions to the panelists at the JACET Kansai Chapter Spring Conference

We are pleased to announce that we will have the honor of having two distinguished panelists, Dr. Tetsuhito Shizuka of Kansai Univ. and Dr. Masayasu Aotani of Kyoto Univ. in the next convention's symposium "Cycling, Skateboarding, and English: All about Them based upon 101 Questions".

To make it more interactive and exciting we have planned to base it mainly on 101 questions which will cover small and large issues like the panelists' favorite movies, their early teaching days, their views on early English education in elementary schools, and Monkasho's policy making. Unlike an ordinary symposium format, our discussion will be conducted interactively, dialogically and sometimes provocatively.

One hundred and one questions, selected and prepared by the coordinator, mainly from those contributed by you, will be expected to generate an interesting chemistry between the speakers.

You can be actively involved here by submitting questions for the symposium. Please visit the following page for details. (Deadline: February 29)
<http://solac.cla.kobe-u.ac.jp/~masakato/cgi-bin/june7th/june7th.html>

Be a part of it! Any questions are welcome either relevant, irrelevant, challenging, or provocative! Contact: Coordinator Masayuki Kato (Kobe University). (masakato@kobe-u.ac.jp)

JACET 共催セミナー 関西英語教育学会

第11回卒論・修論研究発表セミナー開催案内

日時：2月16日（土）9時受付開始（予定）

会場：流通科学大学 (www.umds.ac.jp/)

参加費：会員、非会員とも無料

内容：1. 学部生による卒業論文および大学院生による修士論文発表

- 2. スペシャルトークー英語教育学の理論と実践の統合を目指して：「英文が読めたつもり」を見つめた25年間を振り返って（筑波大学大学院 卯城祐司氏）

詳細は<http://keles.hp.infoseek.co.jp/>をご覧ください。